

空き家片付け大作戦in野原町



2024
3

つながる力でミライを変える！コーディネート報告



作業完了後、清々しい笑顔のボランティアの皆さん

下山地区羽布自治区野原町で早春の晴天の下、町内外から50名あまりのボランティアが参加し、空き家片付けを実施しました。

この取り組みは、集落内で空き家が出て、元の住民の大量の家財道具を処分することは個人では難しく、次の住まい手に繋ぐことができなくなっているという課題を解決しようと、羽布まちづくり委員会と里楽暮住しもやま会が主催し、ボランティア募集について下山支所が相談を受け、当センターが昨年12月にスタートした「とよたの山里応援隊」登録制度も活用し、ボランティア募集の告知と取りまとめを担当した事業です。



協力し合って大型家具を運び出すボランティアの皆さん

大型家具や家電などの重量物も、初対面同士のボランティアの皆さんが声を掛け合って協力し、次々と運び出され、地元の皆さんが分別をして自然と役割分担がなされ、予想時間よりずっと早く作業が進んでいきました。

お昼休憩には地元の食事処のお弁当がふるまわれ、豊田信用金庫の職員有志グループはじめ、



運び出された家財道具を仕分けする様子



ひまわりネットワークの取材を受ける家主さん



運び出されたまだまだ使える家財道具



すっかり綺麗に片付いた家屋の様子

豊田信用金庫ボランティアの皆さん

空き家対策について羽布まちづくり委員会でご講演をされた縁で「責任を持たんといかんと思って」参加された旭地区在住の方、「豊田市に移住を希望しているので、地域の皆さんと繋がりを作りたい」と参加されたご夫妻など、ボランティアの皆さんと地域住民の皆さんとが交流を持ち、情報交換する時間となりました。

引き続き午後も作業を行い、15 時ころには家屋や蔵の荷物はすべて運び出され、分別も終了。家主の川合さんは「皆さんのおかげでこんなに綺麗にさせていただいて、本当に感謝の気持ちでいっぱいです」と参加者の皆さんに深々とお辞儀をされました。

積み上げられたたくさんの不用品のうち、まだまだ使える食器や新品の調理用具なども多くあったので、川合さんの許可を得て、持ち帰る参加者もありました。また、蔵に保管されていた古い農機具などは共同稲作

をしている山村地域のグループに引き取られたりと、片付け作業だけではない繋がりも生まれました。

こちらの物件は、豊田市の移住・定住支援事業の「空き家情報バンク」に登録され、新たな移住者を受け入れていく予定です。今回のような空き家片付けや草刈り・お祭りのお手伝いなど、地域活動にボランティアで参加してみたい方は、是非「とよたの山里応援隊」へご登録ください。(松本)



お申込みフォーム



個人用



団体用

とよたの山里応援隊
の登録はこちらから



つながる力でミライを変える。

おいでん・さんそんセンター

TEL.0565-77-4203

Mail:info@oidensanson.com

〒444-2843

豊田市旭八幡町堂山432-3(つくラッセル1階)

